

皆さんは「土偶」を知っていますか？
土偶は初め、三角形や頭と腕の部分が伸びた形の、「土版」と呼ばれる板状の単純なものでした。その後、次第に人のような姿へと変化していきました。

土偶の用途は明確ではありませんが、祭祀の際に使われたものと考えられています。大抵の土偶は乳房のある女性の姿をしています。母系社会だった縄



宇宙人説も飛び出す「土偶」

宇宙人!? いえ土偶です

文時代、縄文人にとって土偶は、命を産み出す神秘の力を持つ女性の姿をした神のような存在であり、人々はそれを崇拜することで、豊かな収穫や子孫の繁栄を願ったのです。

埋文センターには、雨滝遺跡出土の遮光器土偶（レプリカ）が展示されていて、来館者の目を楽しませています。

遮光器土偶とは、エスキモーが使った遮光（雪目防止用）に着用するサングラスに、目の部分が似ていることから、呼ばれるようになりました。見た目のインパクトが強すぎるために、「宇宙人なのではないか」という珍説まで飛び出したそうです。

まあそう言われると、見えない事もないような？

市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020 ④

どきどき
たいむとらべらー



こみゅにTeaたいむ

13 標目

ワーク・ライフ・バランスを 考えてみませんか

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をご存じですか？「仕事と生活の調和」という意味です。この調和をとることが実はとても難しいんですね。仕事が忙しくなれば私的な時間は減ります。これが時々であれば我慢できますが、連日となるとどうでしょうか。

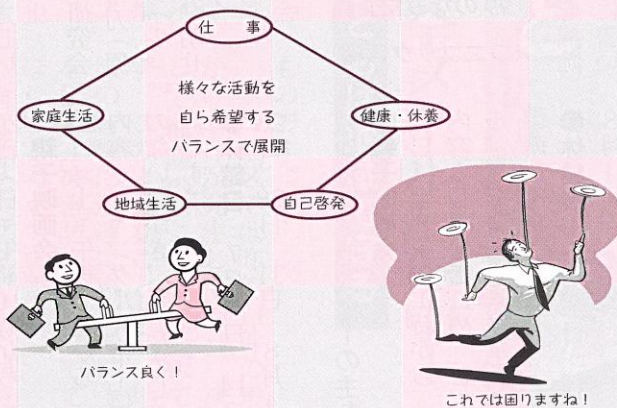
このバランスが崩れると、少子化問題、介護、男女共同参画などにも大きな影響を与えてしまいます。若者にとっては結婚するチャンスも暇もないといったことにもなりかねません。日々の暮らしの中でこのバランスが悪いと感じている方も多いと思います。

「そんなことを言っただって、食べるためには我慢していっぱい働かなきゃだめだろう？」もったもです。でもいくらかでも労働時間を自分の生活のための時間に回す努力は必要ではないでしょうか。すぐには変えられ

なくても作業能率を工夫するとか、無駄な仕事は思い切って見直すとか、少しずつ変えていく努力が大事だと思います。この「ワーク・ライフ・バランス」の考え方を重要な経営戦略ととらえる企業も出てきています。私生活を充実させると知的生産性が向上して仕事での成果が上がるという相乗効果が期待できるという理由からだそうです。

今回はちょっとシビアなお話でした。

ワーク・ライフ・バランスが実現した姿



この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線 652）まで